

～清流木曾川に抱かれた

「豊かき」と「やすらぎ」あふれる創造文化都市実現のために～

令和4年度予算のあらまし

令和4年度は、コロナ禍の荒波を乗り越えるため、「ひと」・「くらし」・「ちいき」のポテンシャル向上や価値の創造にスポットを当て、新規事業の展開や拡充に積極的に取り組む予算編成としました。

「ウイズコロナ」を見据えた安定的な行政サービスの提供や魅力あるまちづくりを推進するために、新型コロナウイルス感染症対策を継続優先するとともに、第6次総合計画に掲げる各種施策を着実に実行します。

予算総額

会計名	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
一般会計	72億9,570万円	69億3,820万円	3億5,750万円 増(+5.15%)

※特別会計、企業会計の予算総額は、町ホームページをご覧ください。



▲令和4年度予算の詳細はこちら

継続優先事業

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 9,471万円

羽島郡医師会などと連携し、希望するあらゆる世代の住民の皆さんに、効率的かつ早期接種を実現するための体制を整備します。



「ウイズコロナを見据える」行政・学校現場でのDX推進



・窓口料金にキャッシュレス決済導入 117万円

役場などの窓口でキャッシュレス決済を導入し、利便性の向上や感染予防対策を図ります。

令和4年10月から役場庁舎、笠松中央公民館、松枝公民館、総合会館での窓口手数料の支払いに、クレジットカード、電子マネー、QRコードなどのキャッシュレス決済を導入します。



・保護者向け情報配信システムの活用 72万円

小中学校からのEメールによる一方向の情報配信を、スマホアプリを活用する双方向の情報配信システムに更新します。

学校からはファイルの添付、アンケート機能の活用、保護者からは児童生徒の休暇連絡、体調管理などの報告ができるようになり、学校側もクラス全員の健康状態を瞬時に把握することが可能になります。

また、放課後児童クラブの連絡網としても活用します。

令和4年度予算 主要事業

1. 未来を創造する「ひと」づくり



・かさまつ子どもまちづくり事業 45万円

小中学生約15人による「かさまつ子どもまちづくり委員会」を設置し、将来を担う子どもたちのまちづくりへの積極的な参画を推進し、提言を町の施策に反映させます。



・官学連携青少年キャリアサポート 88万円

在住・在学の中高生が新たなビジネスを創造する「起業」を疑似体験し、未来の起業家の輩出や育成を目指すとともに、将来の起業による事業の創出で新たなまちの活性化に繋がります。



・笠松中学校トイレ改修工事 6,231万円

生徒会、PTA、町内会連合会などで構成する「トイレ研究会」で検討を進め、生徒たちの意見を取り入れたトイレを実現します。



・保育所(園)紙おむつ処理事業補助 122万円

保護者が持ち帰っていた使用済み紙おむつを施設で一括処分する費用などを補助し、子育て世代の負担軽減を図ります。

2. にぎわいを創造する「くらし」づくり



・町民主体の環境団体支援 53万円

良好な自然環境と生物多様性の保全により持続可能な社会の実現に繋がる活動を担う団体に対して支援を実施します。



・県内プロスポーツチーム支援 134万円

県内プロスポーツチームの地域貢献をまちづくりに活かし、チームと連携したプロモーション活動を展開するとともに、地域のスポーツ文化の醸成や子どもたちのキャリア教育に繋がります。

3. 安心・安全な暮らしを創造する「ちいき」づくり

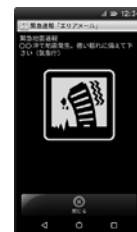


・街頭防犯カメラ設置補助 60万円

地域の安全の強化を図るため、町内会の防犯カメラ設置に対する補助をします。

・空家等対策相談業務委託 47万円

専門家団体と相談の連携協定により、法律・相続など皆さんの空き家の困りごとを解消し、町内の土地活用の活性化を図ります。



・防災行政無線操作卓設備更新、 同報系無線連携 7,427万円

老朽化する防災行政無線操作卓を更新するとともに、Jアラート・携帯キャリアメール・SNSなどと連携させ、防災情報の伝達機能を強化します。